



## 2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月13日

上場会社名 株式会社学びエイド 上場取引所 東  
 コード番号 184A URL <https://www.manabi-aid.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 廣政 愁一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長兼総務課長（氏名） 杉浦 久恵（TEL）03(6801)8521  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年4月期第1四半期の業績（2024年5月1日～2024年7月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	52	—	△82	—	△91	—	△63	—
2024年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	△29.06	—
2024年4月期第1四半期	—	—

（注）1. 2024年4月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年4月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2025年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第1四半期	482	386	80.1
2024年4月期	452	289	64.0

（参考）自己資本 2025年4月期第1四半期 386百万円 2024年4月期 289百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年4月期の業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	774	23.2	200	37.3	185	30.5	122	3.2	54.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期1Q	2,248,100株	2024年4月期	2,068,100株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	—株	2024年4月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期1Q	2,197,230株	2024年4月期1Q	—株

(注) 2024年4月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年4月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大や大手企業を中心とした賃上げをはじめとした雇用、所得環境の改善や日経平均株価も34年ぶりの最高値を更新するなど、社会経済活動の正常化が進み、回復傾向がみられました。しかし、ロシア・ウクライナや中東地域をめぐる情勢不安、国内における円安によるコスト負担増加や能登半島地震等の自然災害の影響もあり、地政学的リスクの長期化、インフレ抑制など各国での金融政策の影響等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する教育産業全体の市場は少子化や新型コロナウイルスの影響により横ばいに推移しておりますが、大学入試改革等の教育制度改革が進んでおり、顧客のニーズは多様化し、より質の高い教育サービスを求める声が高まっております。

教育デジタル事業につきましては政府のGIGAスクール構想による教育現場でのスマートフォンやタブレット端末の普及と活用が進み、今後も引き続き市場と顧客層の拡大が見込まれます。このような状況の中、当社は、『Be a Player. (教育の「意欲」の機会均等をあまねく達成し、前向きなひとをたくさん作る企業)』という企業理念及び『「教えたい」と「教わりたい」をていねいに紡ぐ。』という経営理念を掲げ、その実現に向かって取り組んでおります。

その中でも、効果の上がる「映像授業」と効率の上がる「管理機能」を搭載した映像学習サービス「学びエイドマスター」を大手学習塾に対して重点的に販売活動を行うほか、教材の「映像授業化」とそれを配信する「配信サービス」を提供する「学びエイド for Enterprise」を教育関連事業者に対して積極的に販売活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における主な売上高は、「学びエイドマスター」が22,948千円、「学びエイドマスターforSchool」が15,467千円、「学びエイドforEnterprise」が12,144千円、全体で52,743千円となりました。

営業損失は82,444千円、経常損失は91,712千円、四半期純損失は63,841千円となりました。

また、当社は教育デジタル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが当第1四半期累計期間におけるサービス区別の売上高は以下のとおりとなります。

サービス区分	売上高 (千円)	割合 (%)
学びエイドマスター	22,948	43.5
学びエイドマスターforSchool	15,467	29.3
学びエイドforEnterprise	12,144	23.0
その他	2,182	4.1
合計	52,743	100.0

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は394,441千円となり、前事業年度末に比べ2,050千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が147,930千円増加、売掛金及び契約資産が178,215千円減少したことによるものであります。

固定資産は87,929千円となり、前事業年度末に比べ27,985千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が29,111千円増加、有形固定資産が1,100千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、482,371千円となり、前事業年度末に比べ30,036千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は55,110千円となり、前事業年度末に比べ61,261千円減少いたしました。これは主に未払金が22,213千円、未払法人税等が21,866千円減少したことによるものであります。

固定負債は41,008千円となり、前事業年度末に比べ5,492千円減少いたしました。これは主に長期借入金が

5,499千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、96,118千円となり、前事業年度末に比べ66,754千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は386,252千円となり、前事業年度末に比べ96,790千円増加いたしました。これは主に四半期純損失の計上により利益剰余金が63,841千円減少した一方で、株式上場に伴う新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ80,316千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の業績見通しにつきましては、2024年6月14日の「2024年4月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、上記見通しにつきましては、本資料の発表日時点において把握している情報に基づいたものであり、今後、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	141,607	289,537
売掛金及び契約資産	239,756	61,541
貯蔵品	4,243	2,851
その他	9,997	42,158
貸倒引当金	△3,214	△1,648
流動資産合計	392,390	394,441
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,703	56,703
減価償却累計額	△12,460	△13,306
建物（純額）	44,243	43,397
その他	11,388	11,747
減価償却累計額	△6,870	△7,484
その他（純額）	4,517	4,262
有形固定資産合計	48,761	47,660
無形固定資産	186	161
投資その他の資産	10,996	40,108
固定資産合計	59,944	87,929
資産合計	452,334	482,371

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	24,496	22,996
未払金	45,013	22,800
未払法人税等	22,516	650
契約負債	6,707	6,543
その他	17,637	2,119
流動負債合計	116,371	55,110
固定負債		
長期借入金	37,845	32,346
資産除去債務	8,656	8,662
固定負債合計	46,501	41,008
負債合計	162,872	96,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,122	200,438
資本剰余金	110,122	190,438
利益剰余金	59,216	△4,624
株主資本合計	289,461	386,252
純資産合計	289,461	386,252
負債純資産合計	452,334	482,371

## (2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

	(単位：千円)
	当第1四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	52,743
売上原価	48,235
売上総利益	4,508
販売費及び一般管理費	86,952
営業損失(△)	△82,444
営業外収益	
受取利息	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	159
株式交付費	2,399
上場関連費用	6,710
営業外費用合計	9,268
経常損失(△)	△91,712
税引前四半期純損失(△)	△91,712
法人税、住民税及び事業税	145
法人税等調整額	△28,016
法人税等合計	△27,871
四半期純損失(△)	△63,841

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月28日における東京証券取引所グロース市場への株式上場にあたり実施した公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ80,316千円増加しております。この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が200,438千円、資本剰余金が190,438千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自2024年5月1日 至2024年7月31日）

当社は、教育デジタル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	1,484千円